サポート情報記事

Employee Directory (Entra ID): フィルター エディターのリファレンス

2026 © Vitextra SIA. All rights reserved.

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

フィルター エディターの場所 4

フィルターの構造 5

使用できるフィールド 7

演算子 9

値の種類 10

ユーザー役割とロール テンプレート 11

フィルターと **Microsoft Graph** の関係 11

制限事項 12

例 13

例 **1. 1** つの部署 13

例 **2.** 複数の国またはオフィス 13

例 **3.** 役職が含む **/** 始まる 13

例 **4.** カスタム属性 13

例 **5.** サービス アカウントとゲストを除外する 14

例 **6.** 最上位レベルの条件と「または」グループを組み合わせる 14

New Employees でフィルター エディターを使用する 14

Vitextra Employee Directory (Entra ID) Web パーツのフィルター エディターでは、Web パーツに表示するユーザーを定義します。条件と条件グループを AND と OR で組み合わせることで、ページごとに固定の表示範囲を作成できます。たとえば、1 つの部署だけ、1 つの国だけ、あるいはサービス アカウント以外の全員といった範囲です。同じエディターは **New Employees** Web パーツでも使用されます。この記事では、エディターが提供するすべての機能 (フィールド、演算子、値の種類、グループ、ユーザー役割、フィルターの適用方法、制限事項、代表的な例) をリファレンスとして説明します。

フィルター エディターの場所

ページを編集し、Web パーツのプロパティ ウィンドウを開いて **データ ソース** グループを展開します。**フィルター** の下に現在のフィルターのプレビュー (フィルターがない場合は **フィルターは適用されていません**) と **フィルターの編集** ボタンが表示されます。

フィルターの編集 を選択すると、**高度なフィルター処理** パネルが開きます。ここでフィルターを作成し、**保存** を選択して適用するか、**キャンセル** を選択して変更を破棄します。保存するとすぐにページが更新されます。全員に変更を反映するには、ページを再発行してください。

フィルターのプレビューと「フィルターの編集」ボタン

メモ

これは、バージョン 26.9 で削除された従来の Query Builder ではありません。バージョン 26.9 では、Employee Directory のコードから製品固有の古いエディター実装が削除されました。ここで説明するフィルター エディターはその後継となる Vitextra の共通コンポーネントで、現在のバージョンで完全にサポートされています。フィルター エディターは **Employee Directory (Entra ID)** と **New Employees** の各 Web パーツで使用できます。**Employee Directory** Web パーツ (User Profiles / Entra ID のソース選択があるもの) にはありません。

フィルターの構造

フィルターは **最上位レベル** で構成され、そこに 2 種類の項目を配置できます。どちらも **追加** ボタンで追加します。

- **条件** – 1 つのルールです。フィールド、演算子、および (ほとんどの演算子では) 値で構成されます。例: *部署 = Sales*。
- **グループ** – 独自の AND/OR 設定を持つ、複数の条件のコンテナーです。グループ

は最上位レベルにのみ追加できます。グループ内には条件を追加できますが、さらにグループを追加することはできません。

各レベル (最上位レベルと各グループ) には **かつ / または** の切り替えがあります。

- **かつ** – そのレベルのすべての条件に一致する必要があります。
- **または** – そのレベルの少なくとも 1 つの条件に一致する必要があります。

フィルターの評価時には、最上位レベルの条件は最上位レベルの切り替えに従って、各グループ内の条件はそのグループの切り替えに従って組み合わされ、その後 **各グループはフィルターの残りの部分と AND (かつ) で組み合わされます。**実際には、次のシンプルなパターンになります。すべて満たす必要がある条件は最上位レベルに **かつ** で配置し、選択肢の組み合わせ (「Sales または Marketing」、「ドイツまたはオーストリア」) はそれぞれ **または** のグループに配置します。

高度なフィルター処理パネルの最上位レベルの条件と「または」グループ

警告

最上位レベルを **または** に切り替えても、影響を受けるのは最上位レベルに直接配置された条件だけです。グループは引き続き AND (かつ) で組み合わされます。異なるフィールドにまたがる選択肢が必要な場合 (例: *部署 = Sales* **または** *役職 次を含む Sales*) は、それらの条件を **または** に設定した 1 つのグループにまとめてください。

条件やグループを削除するには、その横にある削除 (ごみ箱) アイコンを選択します。フィールドが選択されていない条件は無視されます。

使用できるフィールド

条件のフィールド一覧は、次のセクションに分かれています。

セクション	フィールド	確認する内容
–	アカウントの状態	ユーザーの Microsoft Entra ID アカウントが有効か無効か (サインインが許可されているかブロックされているか)。
メンバーシップ	ユーザ役割	選択した Microsoft Entra ディレクトリ ロールのいずれかをユーザーが持っているか。ユーザー役割とロール テンプレートを参照してください。
プロパティ	組み込みの列	Microsoft Entra ID のユーザー属性 (列のタイトルで表示)。
プロパティ	ユーザー設定の列	ユーザー設定の列 で追加したカスタム属性 (Employee Directory (Entra ID) のみ)。

Employee Directory (Entra ID) Web パーツでは、プロパティ セクションに 列 の構成にあるすべての列 (一覧に表示するかどうかに関係なく) と、ユーザー設定の列 にあるすべての列が表示されます。イメージ 列と 状態 (プレゼンス) 列は、フィルターできるテキストを含まないため除外されます。**New Employees** Web パーツでは一覧は固定で、標準の列が含まれ、カスタム属性は使用できません。

フィルターに特に役立つ組み込みの列と、対応する Microsoft Entra ID のユーザー属性は次のとおりです。

列 (エディターでの表示)	Microsoft Entra ID 属性
氏名	displayName
名 / 姓	givenName / surname
役職	jobTitle
部署	department
会社名	companyName
オフィスの所在地	officeLocation
国/地域	country
市区町村	city
都道府県	state
住所	streetAddress
郵便番号	postalCode
メール	mail
ユーザー名	userPrincipalName
ID	employeeId
従業員の種類	employeeType
携帯電話	mobilePhone

メモ

表に示したような単一値のテキスト属性でフィルターしてください。ユーザー、値のリストを保持する列や、Microsoft Entra ID から値が設定されない列 (例: **上司**、**電話番号 (勤務先)**、**技能**、**場所**、**電話番号 (自宅)**) はフィルターには適していません。これらに対する条件は期待どおりに動作しません。

ヒント

組み込みの一覧にない属性 (たとえば、コスト センターを保持するオンプレミスの拡張属性) でフィルターするには、まずその属性を ユーザー設定の列 に追加します。KB10060. Employee Directory Web パーツでカスタム Entra ID 属性を表示する方法を参照してください。

演算子

選択できる演算子はフィールドによって異なります。

演算子	対象	一致する条件
=	プロパティ、アカウントの状態	値が入力したテキストと完全に一致する。値を空のままにすると、フィールドが空のユーザーが一致します。
が次の値と等しくない	プロパティ、アカウントの状態	値が入力したテキストと異なる (フィールドが空の場合も含む)。
が空白でない	プロパティ	フィールドに何らかの値がある。
が空白である	プロパティ	フィールドが空である。
が次の値で始まる	プロパティ	値が入力したテキストで始まる。
が次の値で始まらない	プロパティ	フィールドに値があり、入力したテキストで始まらない。空のフィールドは一致しません。
次を含む	プロパティ、ユーザ役割	値のいずれかの位置に入力したテキストが含まれ

演算子	対象	一致する条件
		る。**ユーザ役割** の場合: 選択したロールの少なくとも 1 つを持っている。
が次の値を含まない	プロパティ、ユーザ役割	値にテキストが含まれない (フィールドが空の場合も含む)。**ユーザ役割** の場合: 選択したロールを 1 つも持っていない。

テキストの比較はすべて **大文字と小文字を区別しません**。*sales*、*Sales*、*SALES* は同じものとして扱われます。テキストは文字どおりに比較されます。`*` や `%` などのワイルドカードに特別な意味はなく、スペースも比較対象になるため、値の先頭や末尾にスペースを入れないでください。

警告

空のフィールドの扱いが演算子によって異なる点に注意してください。**が次の値と等しくない** と **が次の値を含まない** はフィールドが空のユーザーを含みますが、**が次の値で始まらない** は除外します。たとえば、*部署 が次の値と等しくない Sales* では、部署が設定されていないユーザーもすべて表示されます。これらのユーザーを除くには、*部署 が空白でない* を **かつ** で追加するか、Web パーツの設定で **空の部門を持つ従業員を除外する** をオンにします。

値の種類

値の入力コントロールは、選択したフィールドによって変わります。

- **テキスト ボックス – プロパティ** のすべてのフィールド。比較するテキストを入力します。**が空白でない** と **が空白である** では値が不要なため、テキスト ボックスは表示されません。
- **ドロップダウン リスト – アカウントの状態: オン** または **無効**。
- **複数選択リスト – ユーザ役割:** 1 つ以上のディレクトリ ロールを選択します。

値はテキストとして比較されます。数値や日付は数値や日付としては比較されません。たとえば *ID が次の値で始まる 10* は `10`、`105`、`10-A` に一致します。そのた

め、「より大きい」「より小さい」といった演算子はありません。

ユーザー役割とロール テンプレート

ユーザ役割 の条件には、組み込みの **Microsoft Entra** ディレクトリ ロール (Global Administrator、User Administrator、Exchange Administrator、SharePoint Administrator、Teams Administrator、Helpdesk Administrator、Directory Synchronization Accounts など約 100 種類) が一覧表示されます。このロール テンプレートの一覧は Web パーツに同梱されています。組み込みロールにはそれぞれ固定のロール テンプレート ID があり、すべての Microsoft 365 テナントで同じです。そのため、一覧をテナントから読み込む必要がなく、保存したフィルターを別のテナントにコピーしても引き続き機能します。

ユーザ役割 の条件では、選択したロールと各ユーザーに割り当てられたディレクトリ ロールを比較します。

- **次を含む** – 選択したロールの少なくとも 1 つを持っている。
- **が次の値を含まない** – 選択したロールを 1 つも持っていない。

一覧に含まれるのは組み込みのディレクトリ ロールだけです。カスタム ロール、アプリケーション ロール、グループ メンバーシップはこの条件の対象外です。

警告

現在のバージョンでは、Web パーツは Microsoft Graph からユーザーのディレクトリ ロールの割り当てを読み込まないため、**ユーザ役割** の条件に一致するユーザーはいません。**かつ** のグループでは全員が非表示になり、**または** のグループでは条件が成立することはありません。当面はこの条件を使用しないでください。管理者アカウントや技術用アカウントを非表示にするには、代わりに **ユーザー名**、**氏名**、**部署**、**アカウントの状態** に対する条件を使用してください (例 **5** を参照)。

フィルターと Microsoft Graph の関係

フィルターは Microsoft Graph の `$filter` クエリには変換されません。Web パーツは Microsoft Graph からユーザーを読み込み、読み込んだデータに対してブラウザー内でフィルターを適用します。

- **Employee Directory (Entra ID)** は、ディレクトリのすべてのユーザーをページ単位

(1 回の要求につき 900 ユーザー) で読み込みます。Microsoft Graph に送信される条件は `accountEnabled eq true` だけで、それも **ブロックされたユーザーを除外する** がオンの場合に限られます。
- **New Employees** は、設定した月数 (ここ数か月で作成されたユーザーを表示する) 以内に作成されたメンバー ユーザー (`userType eq 'Member'`) を Microsoft Graph に要求し、その結果にフィルターを適用します。

フィルターはブラウザー内で実行されるため、Microsoft Graph の高度なクエリの制限は適用されません。**次を含む**、**が次の値で始まる**、**が次の値を含まない** は、カスタム属性を含め一覧にあるどのフィールドにも使用でき、Microsoft Graph の追加のアクセス許可も必要ありません。一方で、フィルターによって Web パーツが読み込むデータ量が減ることはありません。大規模なディレクトリでは、初回の読み込みにかかる時間はフィルターの有無にかかわらず同じです。

フィルターは Web パーツの他の設定と組み合わせて動作します。ユーザーが表示されるのは、**従業員を除外する** グループのオプション、フィルター、および (使用している場合は) 絞り込みパネル、A–Z ナビゲーション、検索ボックスをすべて通過した場合だけです。絞り込みパネルの値と A–Z の文字は、フィルターを通過したユーザーから算出されます。

> メモ
>
> クイック フィルター **My department** は、フィルター済みのディレクトリをさらに絞り込みます。クイック フィルター **My team**、**People I work with**、**Favorites** は独自のユーザー一覧を表示するため、Web パーツのフィルターによる制限は受けません。

制限事項

- **グループは 1 階層のみ。** グループは最上位レベルにのみ追加でき、常にフィルターの残りの部分と AND (かつ) で組み合わされます。
- **テキスト比較のみ。** 数値や日付の比較、ワイルドカード、正規表現は使用できません。大文字と小文字は区別されません。
- エディターには **「で終わる」演算子はありません。**
- **値はディレクトリの値と一致している必要があります。** フィルターは Microsoft Entra ID に保存されている値を比較します。**国/地域** 属性に `DE` と `Germany` が混在している場合は、両方の値を「または」グループに追加してください。

- **単一値のテキスト属性のみ。** ユーザー型、複数値、値が設定されない列はフィルターに適していません (**使用できるフィールド**を参照)。
- **セキュリティ境界ではありません。** フィルターはページ上で Web パーツが表示する内容を決めるだけで、Microsoft 365 のディレクトリ データへのアクセスを制限するものではありません。

例

例では日本語の UI ラベルを使用しています。サンプルの値は、お使いのディレクトリで使われている値に置き換えてください。

例 1. 1 つの部署

営業部だけを表示します。

- 最上位レベル (かつ): **部署** = `Sales`

例 2. 複数の国またはオフィス

DACH 地域で働くユーザーを表示します。

- グループ (または):

特定のオフィス ビルを表示する場合は、**オフィスの所在地** が次の値で始まる `Berlin` のような 1 つの条件を使用します。この条件は `Berlin HQ`、`Berlin, Floor 3` などに一致します。

例 3. 役職が含む / 始まる

マネージャーとシニア スペシャリストを表示します。

- グループ (または):

大文字と小文字は区別されないため、`manager` は *Project Manager* や *Managing Director* にも一致します。

例 4. カスタム属性

ユーザー設定の列 にキャプション *コスト センター* で追加したオンプレミスの拡張属性 (例: `extensionAttribute1`) に保存されているコスト センターを 1 つ表示します。

- 最上位レベル (かつ): **コスト センター** = `4100`

例 5. サービス アカウントとゲストを除外する

全社向けディレクトリから、技術用アカウント、共有メールボックス、外部ゲストを非表示にします。最上位レベルのすべての条件を満たす必要があります。

- 最上位レベル (かつ):

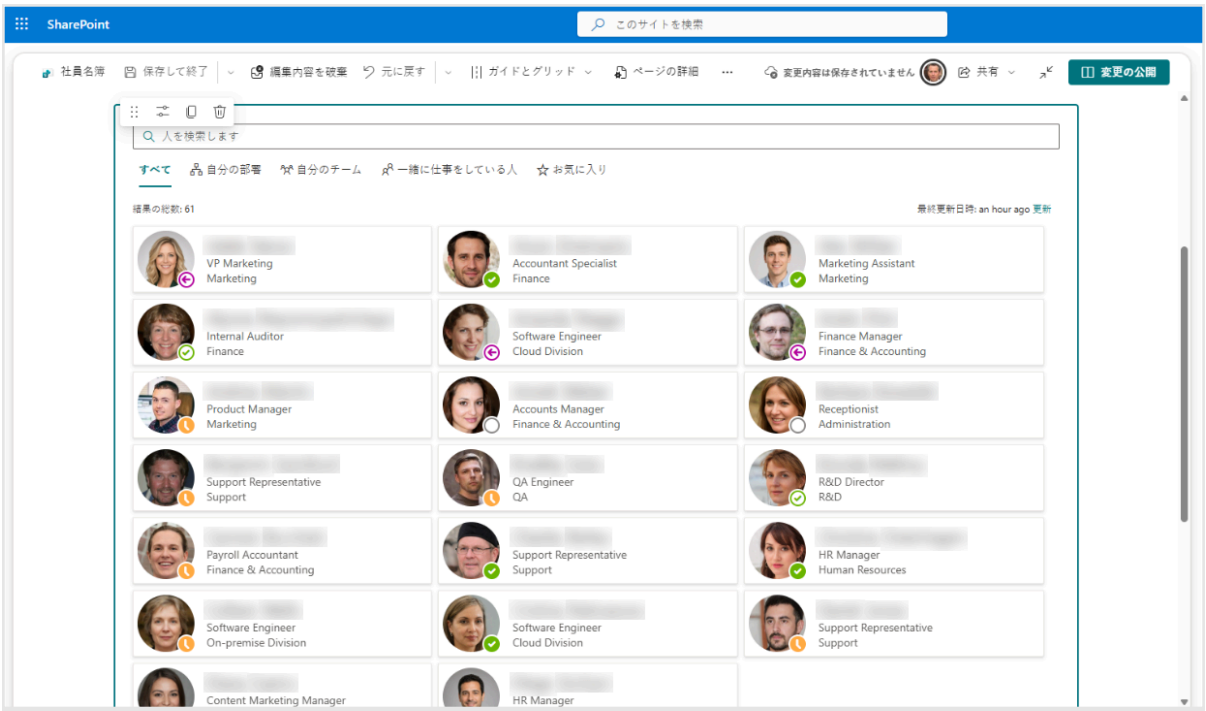
#EXT# の条件は、ユーザー プリンシパル名にこのマーカーを含むゲスト ユーザーを除外します。部署の入力を必須にすると、実在の従業員に属さないアカウントの大半を簡単に除外できます。条件は組織の命名規則に合わせて調整してください。

例 6. 最上位レベルの条件と「または」グループを組み合わせる

ドイツの営業部とマーケティング部を表示します。

- 最上位レベル (かつ): 国/地域 = `Germany`
- グループ (または):

グループは最上位レベルの条件と AND (かつ) で組み合わされるため、結果は *Germany* かつ (*Sales* または *Marketing*) になります。



例 6 の組み合わせたフィルターの結果

New Employees でフィルター エディターを使用する

New Employees Web パーツでは、プロパティ ウィンドウの **フィルター** に同じフィルター エディターがあります。動作は同じですが、次の点が異なります。

- フィルターは、New Employees がすでに選択したユーザー (**ここ数か月で作成されたユーザーを表示する** の期間内に作成されたメンバー ユーザー) に適用されます。
- フィールド一覧には標準の列が含まれ、カスタム属性は使用できません。
- **アカウントの状態** は Employee Directory (Entra ID) と同様に使用できます。**ユーザ役割** も一覧に表示されますが、同じ制限があります (**ユーザー役割とロール テンプレート**を参照)。

一般的な使い方として、正社員だけを歓迎する場合 (例: **従業員の種類** = `Employee`) や、特定の拠点の新入社員だけを表示する場合 (例: **オフィスの所在地** が次の値で始まる `London`) があります。

New Employees Web パーツのフィルター

ヒント

New Employees の設定全体については、KB10207. New Employees Web パーツで新入社員を紹介する方法を参照してください。ディレクトリの除外オプションと A–Z ナビゲーションについては、KB10311. Employee Directory (Entra ID) Web パーツの構成方法: フィルター、除外、A–Z ナビゲーションを参照してください。